

青森



コロナ禍での組合活動制限と 組合員の仲間意識のはざままで

青森県屋外広告美術業協同組合 専務理事 千葉 滋 (有限会社千葉看板)

令和二年の年頭に流行りだした新型コロナウイルスの脅威は二年の歳月を過ぎた今でも私たちの日常をこれでもかと奪い、会社経営においても非常に厳しい状況をもたらしています。

我々の屋外広告業界でも各種イベントやお祭りの中止に伴う表示物製作等の業務も無くなり、特にイベント系の業務の多い私の会社の打撃は計り知れないものとなりました。

日広連全国大会、東北大会等もほぼ中止となり、県組合の事業も止まる中で何とか組合員の絆だけはあると思いつながら行ったオンライン理事会ではやはり組合事業所各社とも苦悩にあえぐ話は同じように多く、残念ながら廃業や、組合を脱退する事業所もありました。

年度後半になつてようやく少しづつ感染状況も落ち着いてきた令和三年十二月の県組合の理事会は、久しぶりの対面の理事会となり、やはり顔を合わせて相手の顔を見ながら話しあう場は絶対に必要なのだと改めて感じました。感染対策を行なつたうえで懇親会もやはり格別なもので、皆が待ち望んだかのようになり楽しい宴の場となつたのを今でも昨日のように思い出します。

この記事が機関紙で皆様に読まれる頃は岩手県での東北大会が多く組合員の参加を持って大いに盛り上がっていることを切に願います。

さて、話は変わりますがそういう訳で日頃のストレスの発散も兼ねて私は夏

にはへばいゴルフを趣味として、また冬には八甲田山のスキーパトロールのボランティアとして体力の維持も兼ねながらの活動をしています。冷え切った空気の中、



樹氷群を縫いながらの滑走は楽しくもあり普段の運動不足を感じるものでもあります。

全国大会のゴルフコンペにはコロナ以前は毎年参加をさせて頂き、全国の有名コースでのプレーも楽しみにしております。

今の閉塞した暗い日々が少しでも早い段階で以前の日常を取り戻し、もう一度安心して皆が過ごせる日々に戻って欲しい。そう願いながらこの寄稿の最後とさせていただきます。

事務局便り

令和三年十二月、一年振りくらいに対面での役員会が開催されました。ずっとテレワークで、人恋しくなっていた私には、仕事とは言え、楽しいひと時でした。コロナ終息かとほっとしたのもつかの間、その後の爆発的な感染拡大により、東北大会の通常開催が見送られたことは、とても残念です。追い打ちをかけるように、地震とか大雪などの自然現象が続き、心が痛みます。

昨年末、以前役員を勤めて下さった組合員の脱退が相次ぎました。青美の事務局を仰せつかった何とわからない私にご指導下さった方が去られたことに、寂しさを憶えています。今まで本当にありがとうございました、とお伝えしたいです。

令和四年は、きつと良い方向に向かうはず。前向きに考えましょう。今年もよろしく願っています。

事務局員 野月 幸子

～先端新規ビジネスへ その開発思想は果てしなく～

東北藤光株式会社

www.t-tohkoh.co.jp

●各種看板資材取扱店●

〒983-0025

宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目2-46

TEL:022-254-0611

FAX:022-254-0608



MARUWA SHOKAI

スリーエムジャパン株式会社 特約加工販売店

株式会社 丸和商会

〒321-0921

栃木県宇都宮市瑞穂 3-5-14

TEL: 028-656-3611

東京・高崎・郡山・仙台・秋田・青森

http://www.maruwashokai.co.jp